

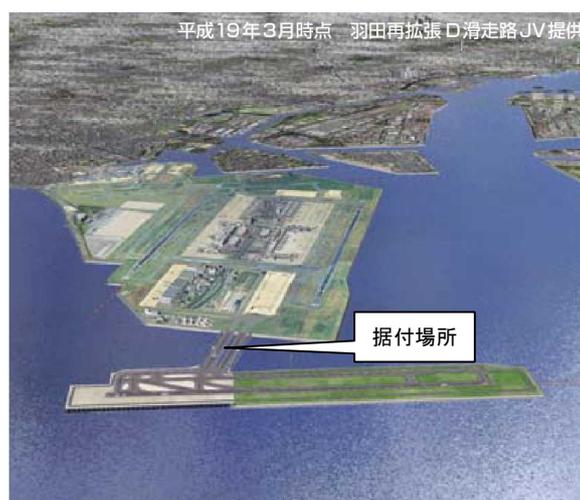
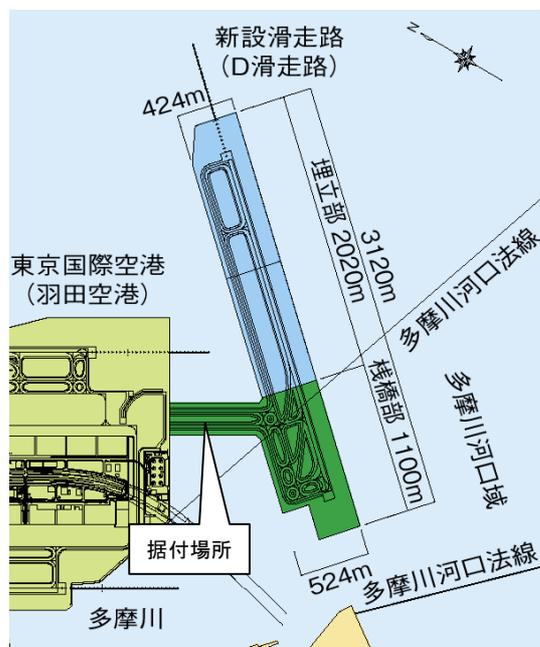
平成20年3月18日 現場日記（連絡誘導路部ジャケット登場）



台船の上に載せられた連絡誘導路部ジャケット（D滑走路展望台より撮影）

新設するD滑走路と現空港島との間は栈橋部と橋梁部からなる延長620mの連絡誘導路により結ばれます。この連絡誘導路部に据え付ける『ジャケット』が羽田海域に登場しました。大きさは、縦 約60m×横 約30m×高さ 約20m、重量 約1300tです。

※ジャケット：海底に打ち込んだ鋼管杭の上に据え付けるテーブル状の鋼製構造物。



位置図

ジャケットの据付の様子は、D滑走路展望台からご覧頂けます。

東京空港整備事務所ホームページ <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda>

東京国際空港(羽田空港)では、D滑走路の供用目標に合わせて様々な工事が行われております。



完成イメージ(提供 羽田空港国際線エプロンPFI(株))



GSE橋梁のUFC桁架設後の様子



地盤改良工事(サンドコンパクション)の様子

国際線地区エプロン等整備等事業においては、北側エプロンと南側エプロンを結ぶ、GSE橋梁上部工工事などが行われております。

※GSE

(Ground Support Equipment)

航空機の牽引など航空機の支援業務に使用される地上機材

※UFC

(Ultra High Strength Fiber Reinforced Concrete)

超高強度繊維補強コンクリート

東側整備地区では、D滑走路と現空港を結ぶ誘導路の地盤改良工事が進められております。